

物流危機を救うテクノロジー ～ ICタグで物流の省人・無人化を実現 ～

2019年8月19日

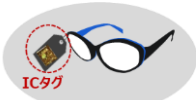
ネット通販等のeコマース拡大は、小口物流量の急増に直結。物流危機で注目されるハイテク物流施設で活用されるICタグは、省人・無人化の切り札か。

「情報」が物流を制する

「eコマース拡大」による宅配便急増に加え、「働き方改革」・「人手不足」を背景に、「物流危機」への対応策が盛んに議論されています。ハイテク物流施設は、対応策のひとつとして注目されていますが、それらの施設で仕分けやピッキング、梱包、配送、在庫管理等の工程で正確な作業を進めるために欠かせないのが、**配送先、配送形態（要冷蔵、こわれもの、天地無用、等々）や配送ルート等に関する「情報」**です。

物流に係る「情報」処理の切り札としての「ICタグ」

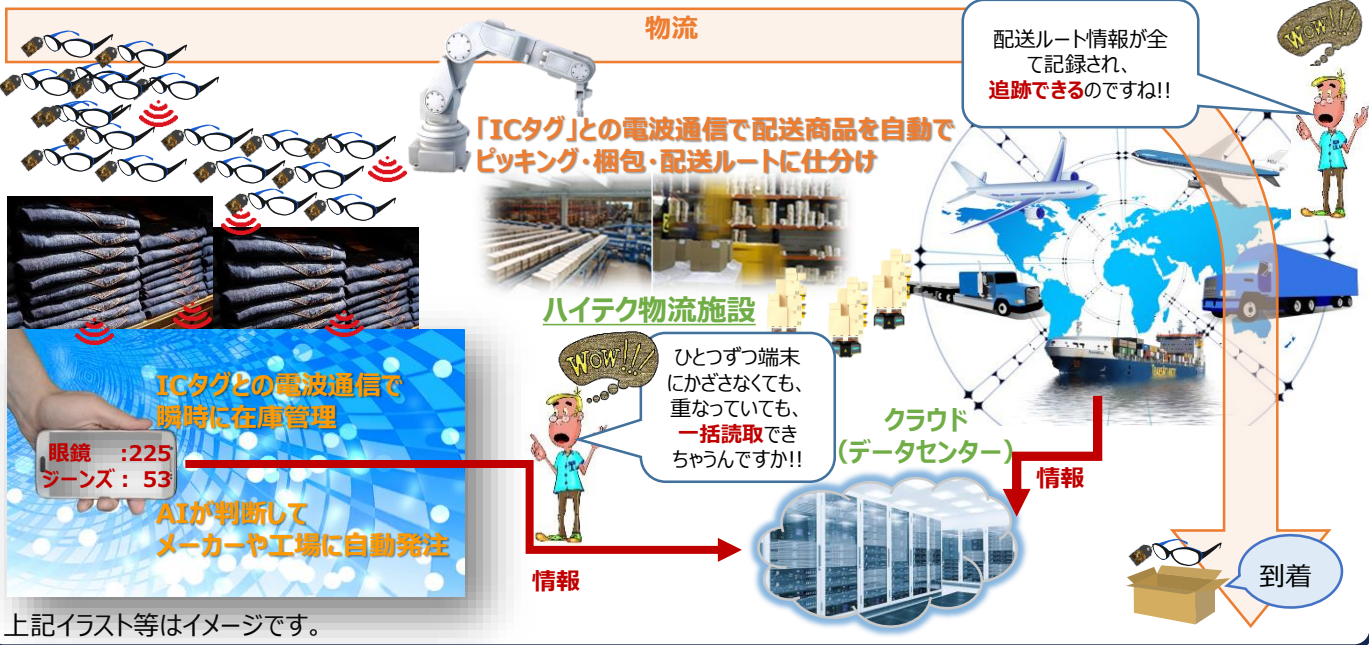
それらの「情報」を目視で確認して手作業を進める時代は次第に過去のものとなり、近年では、「情報」を「タグ」と称される目印に載せ機械的に処理することが当たり前になっています。「タグ」の初期段階は「バーコード」でしたが、情報の読み取りが容易な「QRコード」に移行し、**最近では「ICタグ」が注目を集めています**。ICタグは、「情報」を専用の機器で読み書きできる技術を搭載しています。



「ICタグ」が物流施設の省人・無人化を促進

高まる注目の背景は、**「ICタグ」が物流施設における省人・無人化の切り札になるぐらい便利**だからと言えるでしょう。「ICタグ」には、情報を上書きできるが故に、どういった経路でどこから運ばれてきたのかという「追跡可能性」にも対応できるほか、ひとつひとつを機器にかざして作業するのではなく、複数をまとめて一気に処理できる特性があるため、「効率的な在庫管理」や「スピーディーな仕分け処理」が可能となる利点がたくさんあります。世界で活躍する日本の某大手衣料品企業も数年前から活用するICタグ。ハイテク物流施設が増える原動力になりそうですね。

ハイテク物流施設で活躍する「ICタグ」



特設サイト「AIやIoTが引き起こす第4次産業革命を支えるTECHNOLOGY INFRASTRUCTURE テクノロジー・インフラ」公開中。
左記のQRコードもしくは (https://www.pinebridge.co.jp/fund/40311181/tech_infra.html) からご覧ください。
左記QRコードが読み取れない場合は、2ページ目に拡大したQRコードを載せていますので、ご利用ください。



特設サイト「AIやIoTが引き起こす第4次産業革命を支えるTECHNOLOGY INFRASTRUCTURE テクノロジー・インフラ」公開中。
左記のQRコードもしくは (https://www.pinebridge.co.jp/fund/40311181/tech_infra.html) からご覧ください。

ご留意事項

- 当資料は、情報の提供を目的として、パインブリッジ・インベストメンツが作成した参考資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありませんし、特定の有価証券の売買、ファンド、商品を勧誘、推奨するものではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。当資料中の記載事項、数値、図表等は、当資料作成日時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。なお、当資料中のいかなる記載事項も、将来の投資機会または運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。



パインブリッジ・インベストメンツ株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第307号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会